

強度行動障害あっても地域で暮らせる 東大阪で上映会とシンポ開催へ

2026年2月11日 10時45分

前田 智



映画上映とシンポジウムのチラシ 

てきた。

映画は90分で、6人の障害者が登場。障害がある仲間や支援者とともにグループホームや一人暮らしなどの形で地域で暮らすようになった歴史や思い、障害者や支援者がどんな壁に直面しどう乗り越えてきたかなどを映し出している。

上映後には創思苑の林淑美理事長、田中恵美子日本女子大教授らによるシンポジウムもある。料金は1500円（障害者1千円）。問い合わせはパンジーメディア（072・968・7151）へ。

多動や自傷などの「強度行動障害」がある人が、仲間とともに地域で暮らす姿をとらえたドキュメンタリー映画「つばさをひろげて～私たちは地域でくらしたい～」（小川道幸監督）の上映会とシンポジウムが12日午後1時から、大阪府東大阪市御厨南2丁目の市文化創造館で開かれる。

映画を企画したのは、東大阪市の社会福祉法人「創思苑」。重い障害がある人は地域で暮らすのは難しいと思われがちだが、創思苑では時間をかけて粘り強く対応することで、障害者が施設でなく地域で暮らすことを実現し